

平成25年度 東京大学入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	平成26年3月19日(水) 東京大学施設部(角川本郷ビル4階) 中央会議室	
委員	委員長 清水 幹裕 (弁護士) 委員 蟹澤 宏剛 (大学教授) 委員 竹内 啓博 (公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成25年1月1日から平成25年12月31日に契約締結した案件	
抽出案件(合計)	5 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ては無し。 抽出案件の個別審議に当たっては、委員長を含む全委員が全案件の審議を行った。
工 事	4 件	
一般競争入札	2 件	
随意契約 (政府調達に関する協定対象工事)	2 件	
設計・コンサルタント業務	1 件	
簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)	1 件	
委員からの意見・質問およびそれに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

質 問	回 答
<p>1. 東京大学において発注した建設工事及び設計・コンサルタント業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事の契約については、国の基準、例えば会計法等とは異なる方法をとっているのか。 ・予定価格は公開しているか。 ・価格交渉方式は規程に基づいて行っているのか。 ・総合評価落札方式の実施割合は、毎年どの程度か。平成25年の実施割合は通常の年と比較してどうか。 ・総合評価における技術評価点は何点満点か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の契約は、本学の会計規程・契約事務取扱規程等の規程に基づいている。なお、各規程は国の基準に準じたものとなっている。 ・契約後に公開している。 ・本学の規程に規定されている。 ・平成25年の実施件数は例年より少なかった。総合評価方式は価格競争方式に比べ入札期間を長く要するが、平成25年は早期契約を第一目標として発注した工事が多く、さらに、頻発している入札不調・不落により供用開始時期の遅れを考慮し、採用を見合わせた案件が多かった。 ・現在、40点満点と30点満点の方式がある。前者は従来の標準型総合評価を引き継いだ方式で、後者は簡易型総合評価に採用している。
<p>2. 再苦情申し立て状況報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>3. 談合情報等報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
<p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について</p> <p><u>① 医学部附属病院病棟(Ⅱ期)新営その他工事</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不随契協議においては、予定価格は協議途中で開示するのか。また設備等の工事は別発注か。 ・随契協議にはどれ程の期間を要したか。 <p><u>② (本郷)工学部4号館改修その他工事</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・随契協議の相手方としては、同キャンパス内における同工種工事の施工業者を選定したとの事だが、契約相手方は別工事の施工途中であったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開示は協議成立まで行わない。他工種については、機械設備および電気設備工事を分離発注した。 ・約2週間ほど要した。 ・別の改修工事を施工中の業者と契約した。本工事と工期もほぼ同じであり、資材の一括発注や現場事務所の兼用等で経費削減も可能と判断した。

質 問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・この随契相手の選択方法は経費の面で合理的であり、有効であると思う。可能であれば、複数工事の一括発注も考えて良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件が整うなら、今後検討したい。
<p>③ (駒場Ⅰ)総合研究棟新堂電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低価格入札の事情調査を行ったうえで落札決定しているが、調査においては、評価項目として財務分析が設定されているか。 ・財務分析においては、決められた評価基準はあるか。 ・公正な競争を阻害するほど積算のおかしい入札、例えば直接工事費の積算額を下回るような入札はあったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査項目に経営状況を確認する項目がある。 ・決められた基準は無い。 ・今回はそういった入札は無かった。
<p>④ (本郷)情報基盤センター空調設備改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加申請業者が2者、資格審査で1者不合格の結果1者応札になったとの事だが、資格要件の設定も含め、結果的に1者応札になった事は仕方ないと思うか。 ・総合評価方式を採用しなかったのは、競争参加条件で適正に企業の技術力を担保できるからか。 ・価格交渉方式による落札という事だが、実際に交渉を行ったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格になった1者は、パソコン学習室を有する校舎で参加申請されたが、本工事はスパコン設置に対応した空調工事を行うという特殊性から「電子計算機室を含む校舎又は研究施設」という工事実績を求めたものであり、不合格は仕方ないと思う。なお、参加基準の設定においては、施工者の技術力を担保したい反面、多くの競争参加者を確保したいので、そのバランスに苦慮している。 ・本工事は仕様書で明記した機器等の設置工事であり、施工者の技術力による品質の差が少ないと判断し、価格による競争とした。 ・交渉は2回行った。交渉価格には達しなかったが、予定価格には達したので、落札とした。
<p>⑤ (本郷)国際科学イノベーション拠点新堂(建築)設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書は東大で作成しているのか。また、意匠の評価はどうやって行っているか。 ・設計の場合の支払条件(前払の基準)はどのようなものか。 ・設計プロポーザルにおいては、参加者の財務面の確認はどう行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書は大学で作成している。また意匠については、3名の配置予定技術者のうち1名に意匠担当技術者とし、技術者の資格・経験及び同種や類似の業務実績を評価している。 ・2千万円以上の契約について、契約額の3割の額を前払いしている。 ・プロポーザルの参加条件として、納税証明書の提出を求め、法人税や消費税の納税状況を確認している。